

2

座標の設定をしながら平面図を開く

ここでは「発注図を開くガイド」を使用して、平面図の図面ファイルを開く方法を説明します。

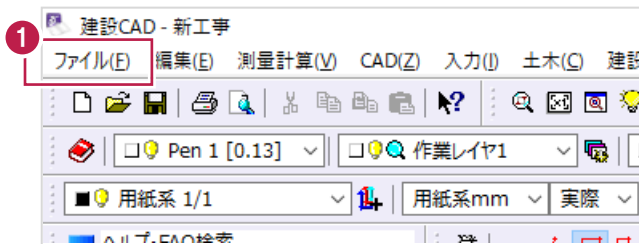
途中、図示されている座標の座標値を2点分使用します。一覧表や路線の計算書などを用意してから操作してください。
作業後、図面内の任意箇所の座標値を確認したり、図面にはない座標マークをプロット（作図）したりできるようになります。

なお、図面を開いた後に、図面上から座標値を確認したり、新しい座標をプロット（作図）などしない場合は、「4 横断図や構造物図などを開く」の操作から図面を開いてください。

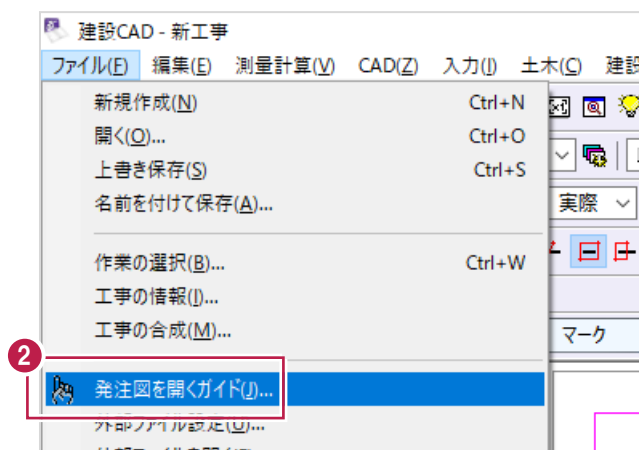
2-1 用紙の選択・図面を開く

ここでは、一連の操作をおこなうことができる「発注図を開くガイド」を利用して、用紙サイズを選択と、図面を一旦開くまでの操作を説明します。

① 画面左上の「ファイル」をクリックします。



② 表示されるメニューの「発注図を開くガイド」をクリックします。



左側にガイドバーが表示されます。
上から順に操作をおこないます。



- ③ 用紙サイズを選択します。
現時点で決められない場合は「A1（横）」を選択してください。

- ④ [用紙確定] をクリックします。

ここで指定する用紙サイズは
[建設CAD] 上で今後使用する
用紙サイズです。

用紙を決める

ファイルを開く

図面を指定する

縮尺を確認する

補正する

縮尺を補正する

原点を補正する

縮尺を再確認する

終了

用紙サイズを設定します。

現在の用紙サイズは

A1(横)

です。

変更する場合は一覧から選んで下さい。

名称	サイズ(縦×横)
A0(横)	801 × 1149
A1(横)	554 × 801
A2(横)	380 × 554
A3(横)	257 × 380
A4(横)	170 × 257
A0(縦)	1149 × 801
A1(縦)	801 × 554
A2(縦)	554 × 380
A3(縦)	380 × 257
A4(縦)	257 × 170

用紙確定

- ⑤ [ファイルを開く] をクリックします。

用紙を決める

ファイルを開く

図面を指定する

縮尺を確認する

補正する

縮尺を補正する

原点を補正する

縮尺を再確認する

終了

用紙サイズを設定します。

現在の用紙サイズは

A1(横)

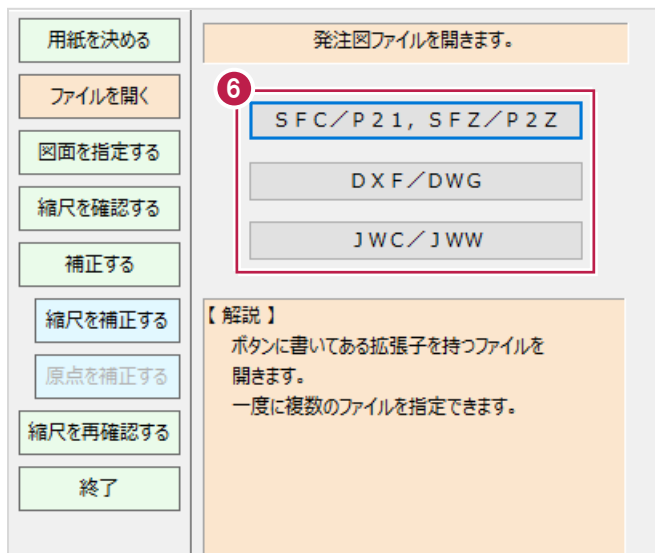
です。

変更する場合は一覧から選んで下さい。

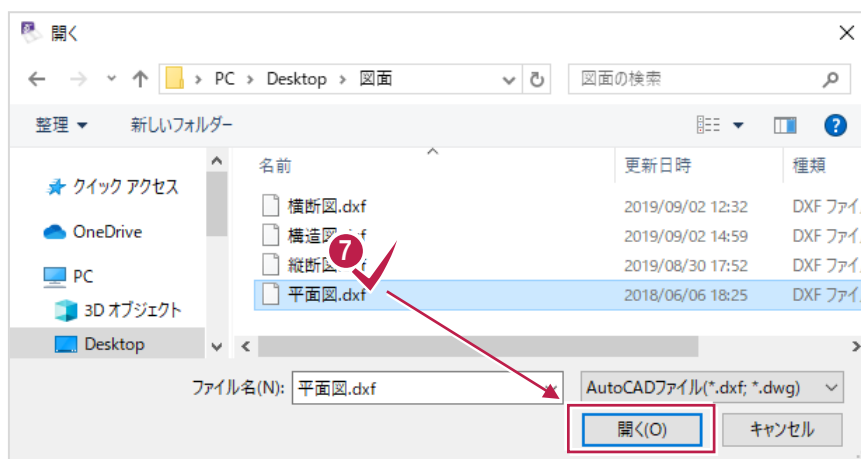
名称	サイズ(縦×横)
A0(横)	801 × 1149
A1(横)	554 × 801
A2(横)	380 × 554
A3(横)	257 × 380
A4(横)	170 × 257
A0(縦)	1149 × 801
A1(縦)	801 × 554
A2(縦)	554 × 380
A3(縦)	380 × 257
A4(縦)	257 × 170

用紙確定

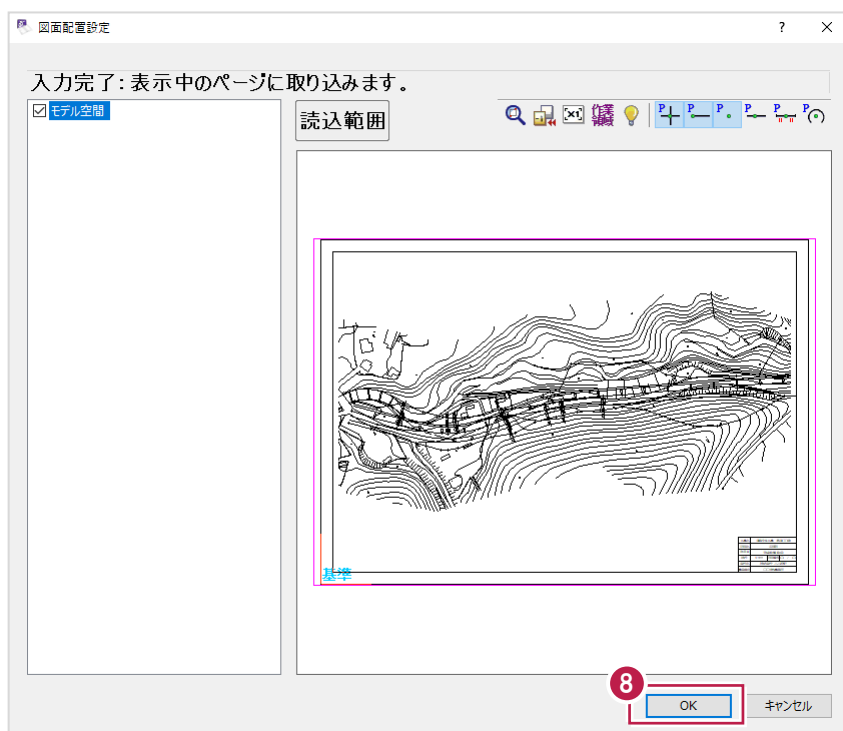
- ⑥ 開こうとしている図面の
ファイル形式を選択します。



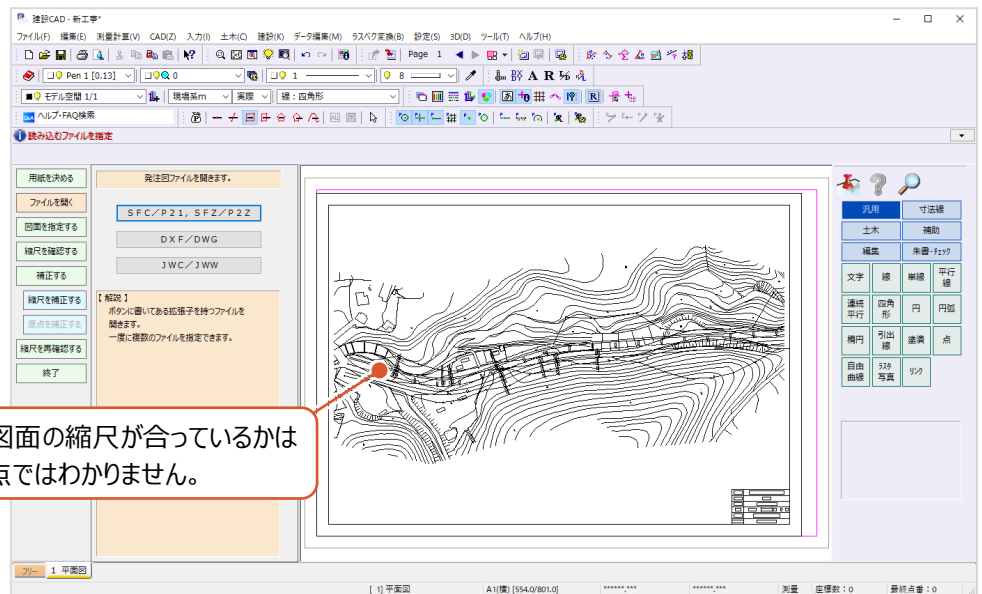
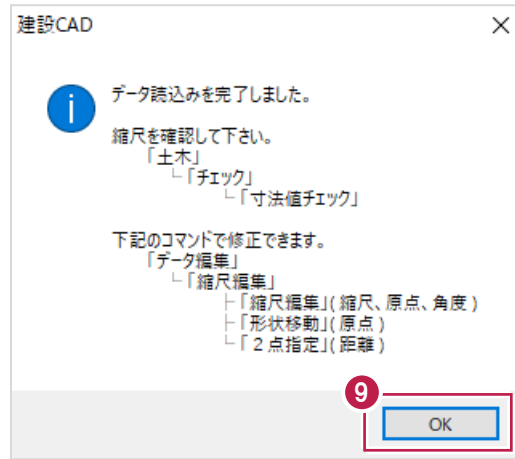
- ⑦ 開く図面ファイルを選択して
[開く] をクリックします。



- ⑧ 図面の内容を確認して
[OK] をクリックします。



- 9 [OK] をクリックします。
 画面上に図面が表示されます。
 ここでの作業はこれで終わりです。

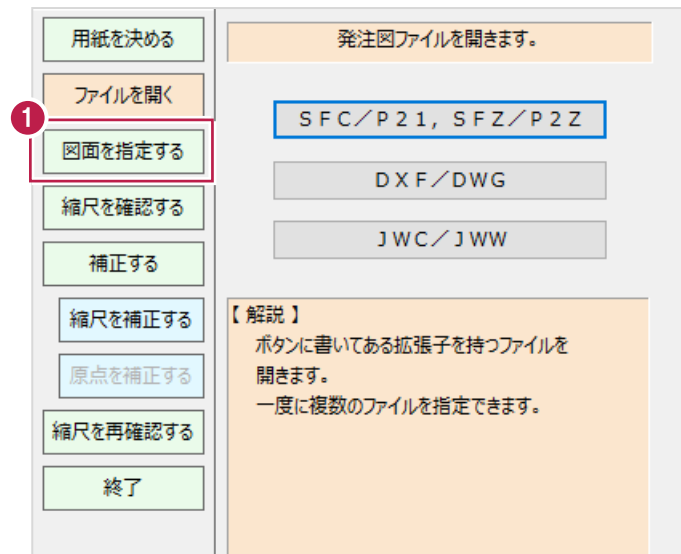


開いた図面の縮尺が合っているかは
この時点ではわかりません。

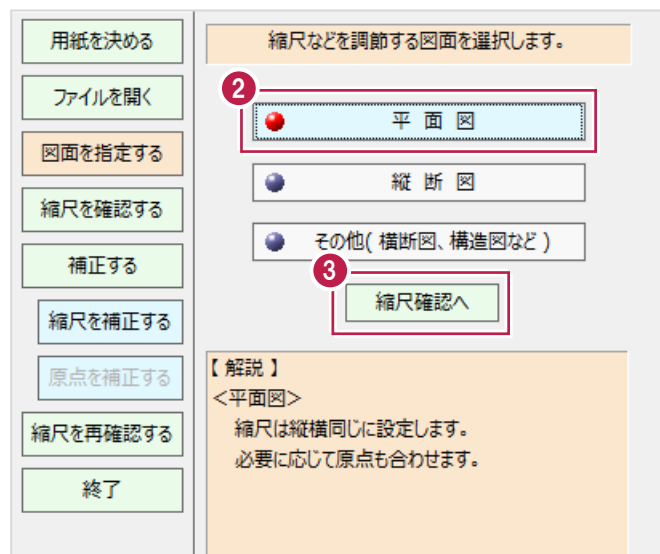
2-2 縮尺（図面サイズ）の補正

開いた図面の縮尺と座標情報を確認後、図面サイズを補正します。
縮尺と座標情報の確認には、図面上の2点の座標値を使用します。

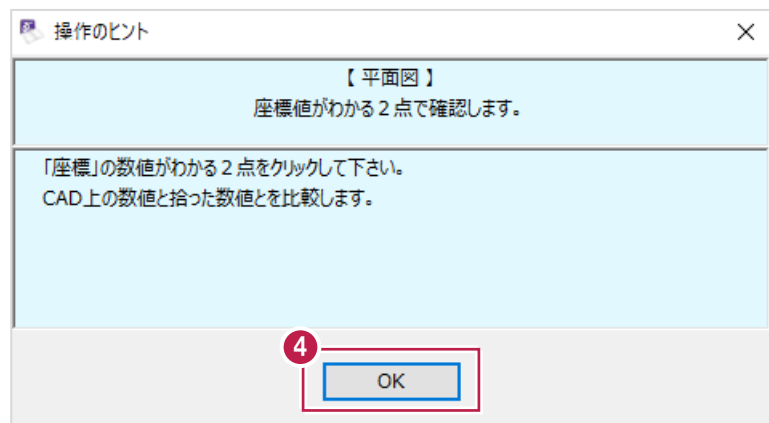
- 1 開いた図面の種類を選択します。
[図面を指定する] をクリックします。

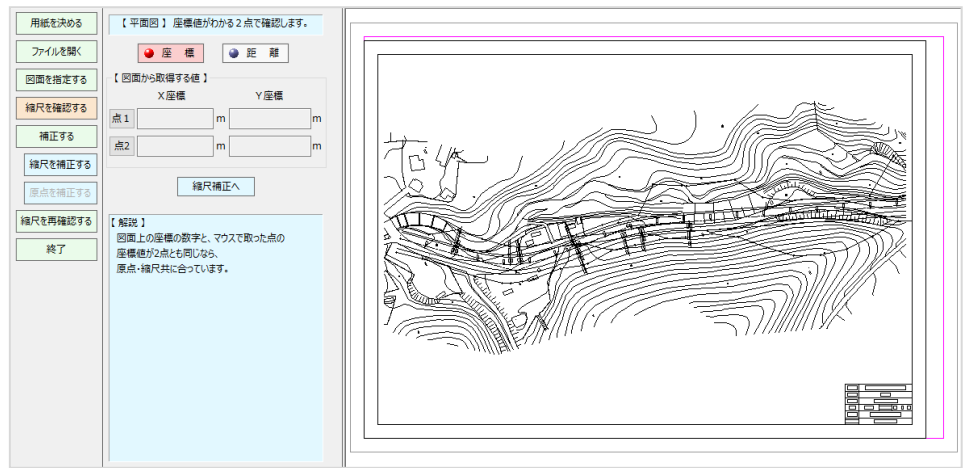


- 2 [平面図] をクリックします。
- 3 [縮尺確認へ] をクリックします。

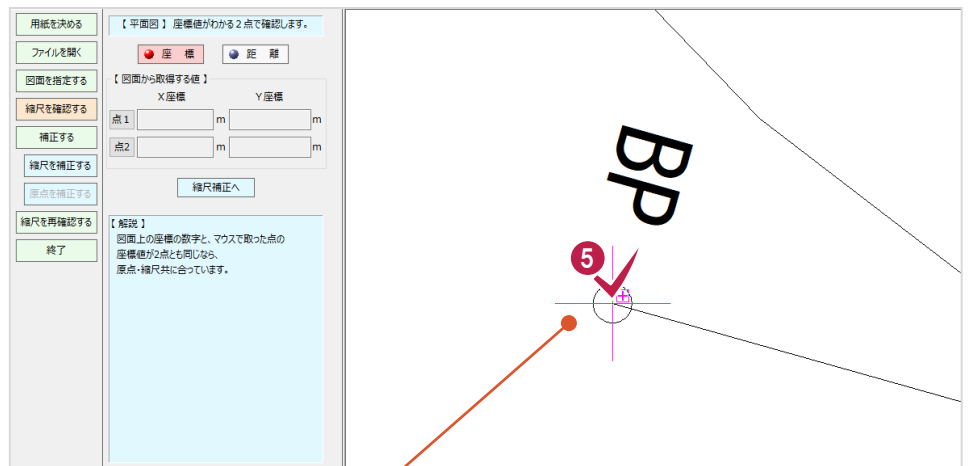


- 4 [OK] をクリックします。



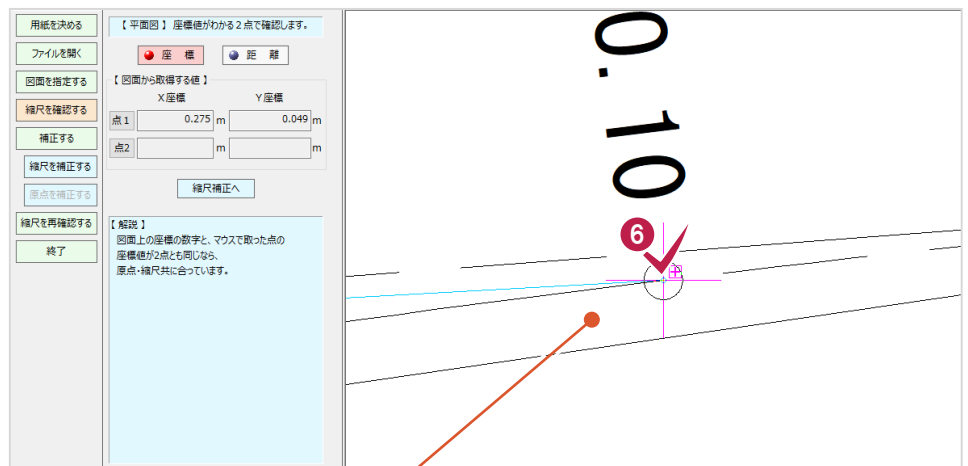


- 5 CAD上で図面を拡大して、座標値が分かっている点をクリックします。



ピックモードを使用・確認しながら、座標マークの中心をきっちりクリックしてください。このクリックがずれてしまうと、設定される縮尺も誤ったものになってしまいます。

- 6 同様に、もう1点 座標値が分かっている点をクリックします。



3点以上の座標値がわかっている場合は、なるべく距離が離れている2点をクリックしてください。(誤差を少なくするためです。)

7 [縮尺補正へ] をクリックします。

ここに表示される座標値は、「5」と「6」でクリックした点のCAD上での座標値です。

	X座標	Y座標
点1	0.275 m	0.049 m
点2	0.295 m	0.406 m

8 [OK] をクリックします。

【平面図】 縮尺を調節します。

「座標」の数値がわかる2点をクリックして下さい。
「縮尺確認」で指定済みなら、実際の座標値をボックスに入力して下さい。
「点」ボタンを押すと、指定点付近を拡大表示します。
「座標一覧から取得」がオンの時、登録済みの座標値から入力できます。
「CADから取得」がオンの時、CAD上の数字を入力できます。

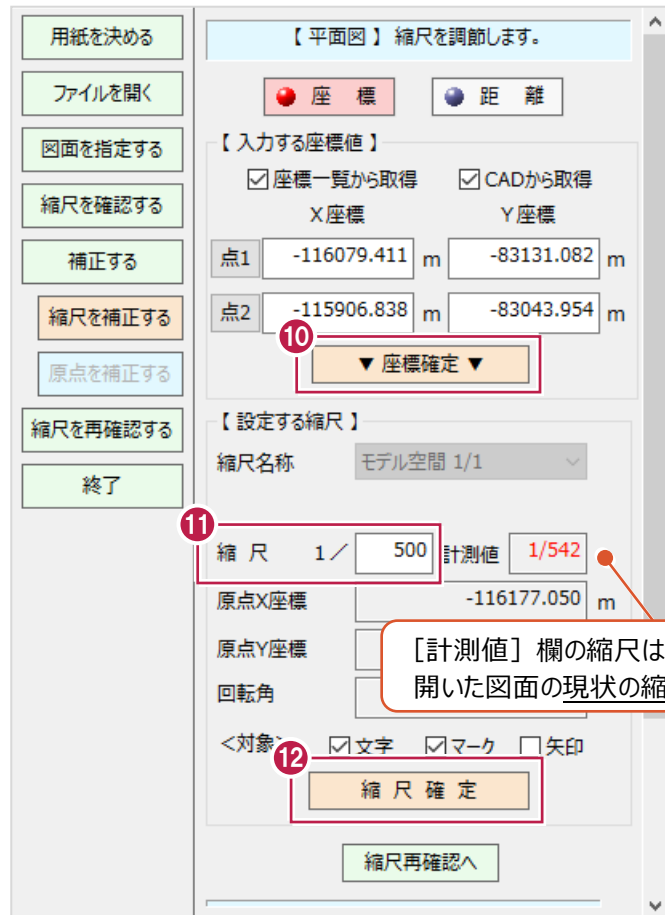
9 「5」と「6」でクリックした2点の座標値をそれぞれ入力します。
(先にクリックした点の座標値は、
[点1] 欄に入力します。)

	X座標	Y座標
点1	-116079.411 m	-83131.082 m
点2	-115906.838 m	-83043.954 m

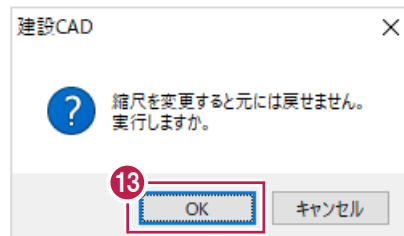
⑩ [▼座標確定▼] をクリックします。

⑪ [縮尺] 欄に、
今後使用したい縮尺を入力します。
ここで入力した縮尺になるように
図面サイズが補正されます。

⑫ [縮尺確定] をクリックします。



⑬ [OK] をクリックします。

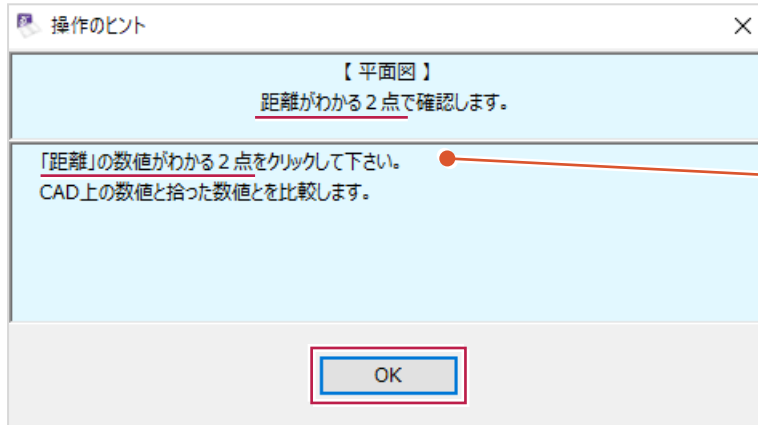


⑭ [OK] をクリックします。
図面サイズが補正され、
本来の点間距離や座標値を
確認・使用できるようになります。
ここでの作業はこれで終わりです。



【縮尺確認へ】のクリック後に表示されるメッセージ・画面について

下記のメッセージ表示、【発注図を開くガイド】の表示となった場合は、注意してください。
 「縮尺」を設定するのに使用する情報が「座標値」ではなく、「点間距離」になっています。



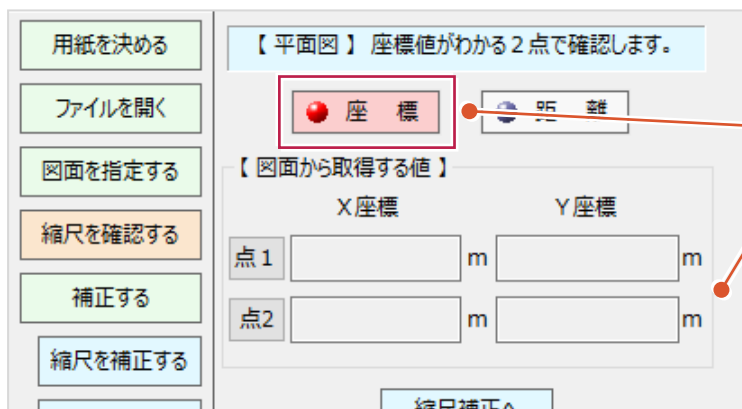
メッセージの文言に「距離」が表示されている。



【距離】の方に赤い丸がついている。

座標値の欄が表示されない。

この場合は【座標】をクリックして、赤い丸の表示を切り替えてください。



【座標】をクリックすると、操作例通りの表示になります。

この【座標】と【距離】の切り替えは、最後に使用した方がオンで表示されてきます。

2-3 縮尺の最終確認と作業の終了

希望通りの縮尺・座標情報となっているかを確認します。

用紙を決める

ファイルを開く

図面を指定する

縮尺を確認する

補正する

縮尺を補正する

原点を補正する

縮尺を再確認する

終了

【平面図】 縮尺を調節します。

座標 距離

【入力する座標値】

座標一覧から取得 CADから取得

X座標 Y座標

点1 0.000 m 0.000 m

点2 0.000 m 0.000 m

▼ 座標確定 ▼

【設定する縮尺】

縮尺名称 モデル空間 1/500

縮尺 1 / 500 計測値 1/542

原点X座標 0.000 m

原点Y座標 0.000 m

回転角 0.0000 度

<対象> 文字 マーク 矢印

縮尺確定

縮尺再確認へ

① [縮尺再確認へ] をクリックします。

操作のヒント

【平面図】

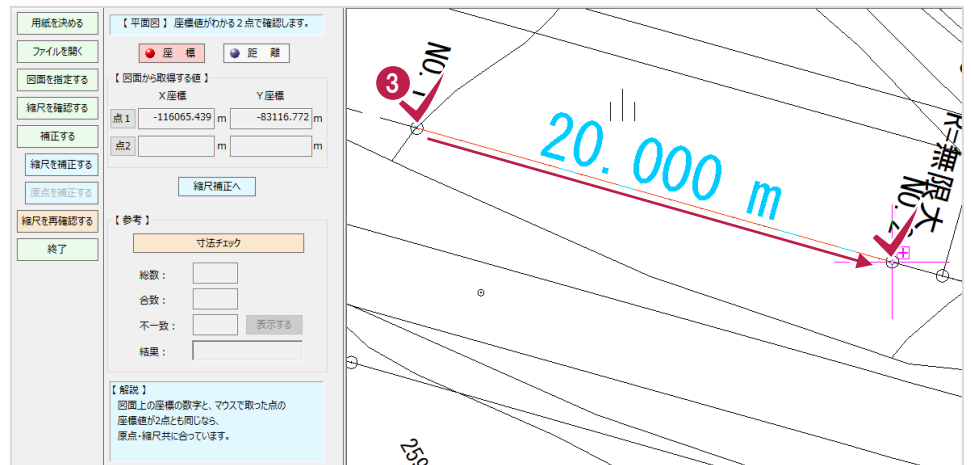
座標値がわかる2点で確認します。

「座標」の数値がわかる2点をクリックして下さい。
CAD上の数値と拾った数値とを比較します。

OK

② [OK] をクリックします。

- ③ 「1-2 縮尺（図面サイズ）の補正」で入力した2点とは別の座標値がわかっている2点を順にクリックしてください。



- ④ 「③」でクリックした2点のCAD上から取得した座標値が表示されます。この座標値が本来のものか確認します。合致していた場合は補正がうまくできています。作業を終わるため「⑤」に進みます。異なっていた場合は「縮尺補正へ」をクリックして、先程とは別の2点を使用して再度補正を試みてください。

- ⑤ 「終了」をクリックします。ここでの作業と、図面を開く作業はこれで終わりです。

